

萬福寺の行事はどなたでも参加できます。



仮設の高座で熱演する柳朝師匠

春
彼岸の中日となつた3月21日、春

彼岸法要が営まれました。当日は
お昼前から多くの参詣者が訪れ、萬福寺

護持会によるお汁粉のお振る舞いもあつ
て、境内はいつになく賑わいを見せてい
ました。

法要に先立つて、午後1時から本堂で
は六代目春風亭柳朝師匠による落語会が
開催されました。会場の本堂には仮設の
高座が設けられ、三百人を超える大勢の
参詣者が集まり、本堂は明るい笑い声に
包まれました。

柳朝師匠は地元・大森山王にお住まい
で、文化の森などで落語会を開くなど、
地元での活動も精力的に行ってています。

平成27年3月21日(土・祝)
**今年は春風亭柳朝師匠の
落語を楽しみました**

春彼岸法要

平成27年3月21日(土・祝)

護持会関係者と親交があり、今回の落語会をお願いしました。もともと落語とお寺は縁が深いそうで、落語界では「てぬぐい」を「まんだら」と呼び、落語家が扇子を持つのも僧侶の使う「中啓(扇)」が源流とのことです。

この日の演題は、知ったかぶりの和尚さんと、いたずら好きの小坊主さんの掛け合いで楽しい「転失気」と、釣り禁止の不忍池で釣りをして役人に捕まり、親孝行を理由に許しを請う「噛の釣り」の二題でした。テンポのよい軽妙な語り口で”萬福寺寄席“は大いに盛り上がりました。

その後、午後2時より安本利正ご住職様はじめ10名の僧侶による法要が厳かに営まれ、ご法要いただいた卒塔婆を手に参詣の皆様は三々五々、お墓参りに向かいました。



200名を超える参詣者が詰めかけた本堂内

TOPICS

萬福寺「古文化講習会」参加者を募集

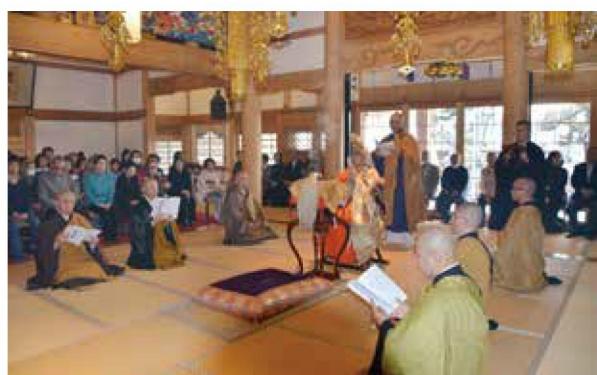
ご住職所有の実物を手にして聴講する異色の講習会

萬福寺では安本利正ご住職様を講師に「古文化講習会」を開催します。ご住職様所有の実物を、受講者が実際に手にしながら聴講するという異色の講習会です。テーマは古写経、古漆器の美、香木と線香、地獄図と閻魔図、平家納経の複製など、10項目に及び、2カ月に1回程度の開催を予定しています。

テーマ、申込要項、参加費など詳しくは同封の別紙をご覧ください。皆様のご参加をお待ちしています。



平家納経（写真上）と各種古写経



午後2時より始まったご法要



(上) 参詣者にお汁粉が振る舞われた

(下) お墓の花器にお花を生ける平林恵美子さん